

2023年度事業計画

3年余りにわたり抑制を余儀なくされた社会・経済活動は、ポストコロナ時代へ移る時期を迎えて確実な回復の兆しを見せ始めており、鉄道においてもインバウンドを始めとする観光需要、旅客輸送などの復活が期待される状況となっています。

一方、JR各社は、この間に進んだ社会構造の変化、顕在化した課題などに対応すべくグループ経営計画など戦略の再構築や強化を図り、柔軟な輸送ダイヤや料金サービス、新たな組織の形や仕事の進め方など、施策の推進、変革のスピードを速めています。

協会会員会社においては、技術の継承や従業員の確保が引き続き課題となるなかでJRグループの一員として、より主体的な役割を担い、安全安定輸送の確保、経営の効率化及びお客さまサービスの向上、安心を提供することが一層求められています。

以上のような状況を十分に認識し、会員会社相互間の課題共有・情報交換を目的とした各種委員会、経営幹部を対象としたセミナー、従業員の知識・技能の向上に資する講習会の開催、協会誌「きずな」の充実、各種表彰などを進めると共に、従来にも増してより幅の広い分野への展開や次代を担う人たちの参画による活性化を図り、会員会社の負託に応えられるよう全力を挙げて取り組んでまいります。

2023年度事業計画は、下記のとおりであります。

記

I 会務関係

1 会議の開催

- (1) 定時社員総会
- (2) 理事会

II 事業関係

- 1 会員会社に共通する諸問題に取り組むため、代表者会議及び総務部長会議を開催する。
- 2 会員会社相互間の情報交換、業務知識並びに技術力の向上、新技術の調査・研究を図るため、専門委員会及び講習会等を開催する。
 - (1) 作業近代化委員会
 - (2) 構内作業委員会
 - (3) 検修作業委員会
 - (4) サービス向上委員会(清掃・駅業務)
 - (5) 編集委員会
 - (6) 経営セミナー
 - (7) 新任役員セミナー
 - (8) 社員の技能と資質向上のための研修会、講習会等を開催する。
 - ① 管理者安全講習会
 - ② QC活動(リーダー・支援者)講習会

- ③ Q C 活動全国発表大会
 - ④ 職能別安全衛生に関する講習会
 - ⑤ 技術講演会、各種見学会
- 3 刊行物の配布
- (1) 協会誌「きずな」を発行し、会員会社、国立国会・都道府県立図書館等に配布
 - (2) 会社要覧、会員会社名簿等の作成及び配布
 - (3) 労働災害統計の作成及び配布
- 4 資格認定業務
- (1) 技術員資格認定講習会の開催及び認定試験の実施
 - (2) 資格認定業務審議会及び小委員会の開催
 - (3) 作業安全責任者資格認定の講習会の開催
- 5 表彰関係
- (1) 定期表彰の実施
 - ① 優良団体
 - ② 優良社員
 - ③ 作業近代化功労
 - ④ 構内作業功労
 - ⑤ 検修作業功労
 - ⑥ サービス向上功労
 - ⑦ 協会誌「きずな」優秀作品
 - (2) 随時表彰の実施
 - 安全成績優良団体表彰：安全作業の確立に努め、優秀な成績を上げた団体
 - (3) 叙勲、国土交通大臣表彰、褒章の推薦
- 6 海外鉄道事情の視察
- スイス、イタリアを訪問し、鉄道会社、駅、高速鉄道、登山鉄道などの視察及び体験乗車
- 7 事務局関係
- (1) 協会のPR
 - ① 交通新聞に設立記念式典及びQ C 活動全国発表大会の記事を掲載
 - ② 交通新聞に広告を掲載
 - ③ ホームページの更新
 - (2) 事務の能率化
 - (3) その他必要な事業の展開